

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

= 聴覚障がい教育における全国の後期中等教育の基幹校としての役割を果たす =

## 【めざす学校像】

○変化を怖れず挑戦する学校    ○地域にグローバルに開かれた信頼される学校    ○みんなが安全で安心できる学校

## 【めざす生徒像】

○生き生きとした活力のある生徒    ○チャレンジ精神にあふれた生徒    ○互いを助け、ともに生きる生徒

安定した心の形成（自己形成）を土台に ・ 地域とつながる ・ グローバルにつながる ・ 安全安心で  
情報保障の充実した学習環境での ・ 基礎学力の定着、発展による ・ 進学、就職の実現  
《ことば》 《たいけん》 《きもち》

## 2 中期的目標

## (1) 聴覚障がいのある生徒一人ひとりの状況に応じた教育の推進

## ■ 社会的自立に向けた教育の推進

- ・自律・自立心を持ち、実行力・実践力のある生徒、自己管理のできる生徒の育成を図る。
- ・自分と同じように、他者を認め大切にする生徒の育成を図る。

## ■ キャリア教育の充実、発信

- ・丁寧な進路指導と納得できる進路の実現を図る。
- ・これまで積み重ねてきた本校のキャリア教育の実践を視覚化する。

## (2) 生徒、保護者の思いに寄り添う学校づくり

## ■ みんなが安全で安心できる教育の推進

- ・地域やPTAと連携した緊急連絡体制や地震対応、不審者対応等の充実を図る。

## ■ 地域とつながる教育の推進

- ・地域に根ざした学校づくりを進め、青年期の課題啓発を図る。

## ■ 聴覚障がい教育の基幹校としてのセンター的機能の充実

- ・地域連携支援室（D-center）を中心に、地域支援や理解啓発活動の充実を図る。
- ・学校紹介等の広報活動を継続的に行う。

## (3) ユニバーサルな教育環境の実現とより質の高い教育の提供

## ■ ICT機器等(タブレット型PC・文字情報システム・電子黒板等)の活用を含む教職員の資質、専門性の向上(授業力向上、教材開発等)

- ・聴覚障がい教育における情報保障の充実した環境を研究し整備する。
- ・聴覚障がい教育における授業改善のあり方を研究し充実を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
聴覚障がいのある生徒一人ひとりの状況に応じた教育の推進	<p>(1) 社会的自立に向けた教育の推進</p> <p>ア 自律・自立心を持ち、実行力・実践力のある生徒、自己管理のできる生徒の育成</p> <p>イ 自分と同じように、他者を認め、大切にできる生徒の育成</p>	<p>(1)</p> <p>ア・現状をふまえた聴覚高等支援学校での「自立活動」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状をふまえた」聴覚高等支援学校での「性に関する指導」の実施</li> <li>・生徒自治会活動の充実</li> </ul> <p>イ・多文化共生教育の推進 (国際交流、高大連携、地域連携)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の教育の推進 (人権HR、人権作文)の実施</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・昨年度作成した「自立活動」授業計画(案)の実施と内容の精査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度作成した「性に関する指導計画」(案)の実施と内容の精査を行う。</li> <li>・時間を有効に活用した活動支援のため、校務分掌の再編整備を行う。</li> <li>・学校教育自己診断 「生徒自治会活動に関心を持って参加」 生徒満足度 50%以上</li> </ul> <p>イ・多文化共生プロジェクトを中心に、生徒自治会や部活動とも連携し、国際交流、高大連携、地域連携に関する各生徒体験プログラムを計画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流については、「台湾国立台南大学附属啓聡学校(聴覚支援学校)」との交流や「アメリカ手話講座」(年10回)を引き続き行う。</li> <li>・本科、専攻科の各学年で、状況に応じた「人権HR」を年3回実施する。</li> <li>・国語科を中心に、「人権作文」に取り組み、コンクールへの応募も考える。</li> <li>・学校教育自己診断 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」 生徒満足度 80%以上</li> </ul>	
	<p>(2) キャリア教育の充実、発信</p> <p>ウ 丁寧な進路指導と納得できる進路の実現</p>	<p>(2)</p> <p>ウ・これまでのキャリア教育の実践の視覚化 日々の活動で得た事例の分析と構成要素のカテゴリー化</p>	<p>(2)</p> <p>ウ・収集した実践事例を分析し、そこから読み取れるメッセージを生徒に紹介し、ともに考えるなどキャリア教育に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例を構成する要素を考え、同じカテゴリーでまとめていく。(試作)</li> <li>・学校教育自己診断 「将来の進路や生き方について考える機会がある」 「進路に関する必要な情報を十分提供」 「希望する進路について丁寧に指導」 生徒満足度 80%以上 「進路指導は適切」 保護者満足度 90%以上</li> </ul>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生徒 保護者の思いに寄り添う学校づくり</p>	<p>(1) みんなが安全で安心できる教育の推進</p> <p>ア 防災等の対応の充実</p> <p>イ 地域とつながる教育の推進</p> <p>ウ 後期中等教育における「聴覚障がい教育」の基幹校としてのセンター的機能の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア・地域やPTAと連携した聴覚障がい者のための防災対応の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への防災教育の充実</li> </ul> <p>イ・地域の方を対象とした「手話講座」初級・中級の実施</p> <p>ウ・地域連携支援室(D-center)の活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動、学校紹介活動の継続発信</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・防災委員会を中心に、引き続き災害発生時の学校対応(マニュアルの改訂や危険箇所のピックアップ、備蓄品の整備、シミュレーション等)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意識向上を図るため、防災学習を年2回実施する。</li> <li>・学校教育自己診断「災害時の対応を知っている」生徒満足度90%以上</li> </ul> <p>イ・聴覚支援学校を会場とする特性活かした「手話講座」を実施する。</p> <p>ウ・地域連携支援室(D-center)を中心として、(地域を含めた)教員の専門性向上のための(公開)研修を年2回以上行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校紹介のためのPRグッズを作成する。</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ユニバーサルな教育環境の実現とより質の高い教育の提供</p>	<p>(1)</p> <p>ICT機器等(タブレット型PC・文字情報システム・電子黒板等)の活用を含む教職員の資質、専門性の向上(授業力向上、教材開発等)</p> <p>ア「聴覚」「高等」「支援」学校としての情報保障</p> <p>イ「聴覚」「高等」「支援」学校としての授業改善</p> <p>ウ「聴覚」「高等」「支援」学校としての「聴能」「発音」指導</p>	<p>(1)</p> <p>ア・聴覚高等支援学校における情報保障に関する研究の実施</p> <p>イ・聴覚高等支援学校における授業改善に関する研究の実施</p> <p>ウ・聴覚高等支援学校における「聴能」「発音」に関する研究の実施</p>	<p>(1)</p> <p>ア・情報保障に関する研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルの構造をふまえた生徒の「言語力」「国語力」向上の取り組みを行う。</li> <li>・学校教育自己診断「聴覚障がいや生徒のコミュニケーション方法について理解」生徒満足度90%以上</li> </ul> <p>イ・授業改善に関する研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒が考える授業」の取り組みを行う。</li> <li>・学校教育自己診断「授業の内容が分かりやすい」生徒満足度80%以上</li> <li>「授業でICT機器を使うなど、教え方に工夫」生徒満足度80%以上</li> </ul> <p>ウ・「聴能」「発音」に関する研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の社会的自立をふまえた「聴能」「発音」のアセスメントを行う。</li> </ul>	